

目次

『アジア仏教美術論集』刊行にあたって

総論 南アジアの古代仏教美術

宮治 昭  
福山 泰子

3

I 初期仏教の時代

アシヨーカ王伝と仏伝

岡本 健資

61

仏伝の形成

——パールフット彫刻の再考——

ピア・ブランカッチオ  
(田辺 理訳)

85

サーンチー第一塔南門東柱の仏伝場面

——主題・図像・プログラム——

平岡三保子

97

景観の中のストウーパ・僧院・聖遺物

——サーンチー地域における型式学的・空間的・時間的パターン——

ジュリア・シヨ  
(岩井俊平訳)

127

## II 北インドのクシャーーン朝

- クシャーーン朝の仏陀像を解き明かす…………… ジョヴァンニ・ヴェラルデイ  
——マトウラーおよびガンダーラにおける禪定、成道、説法、王者性—— (上原永子・福山泰子訳) 171
- 比丘と比丘尼と「低俗な」実践とについて…………… グレゴリー・シヨーパーン  
——インド仏教における仏像崇拜の導入—— (岸野亮示訳) (岸野亮示訳) 195
- クシャーーン朝マトウラーにおける石製仏像の形式展開…………… 定金計次 225

## III 南インドとスリランカ

- アマラーヴァティー出土の仏坐像浮彫に関する再考察…………… 島田 明 261
- カナガナハリ大塔におけるスジャーターの乳糜供養図について…………… 中西麻二子 291
- チャンダヴァラムの美術…………… ロベルト・アールト 323  
——アーンドラ・プラデーシュ州シンガラコングダ丘上の仏教遺跡—— (上枝いづみ訳)
- スリランカ早期仏教美術の評価…………… オズムンド・ポペアラッチ 351  
(森美智代訳)

- 『マハーワンサ』に見られる舍利・仏塔信仰…………… 藪内聡子 387  
——王権・僧団との関り——

## IV 北インドのグプタ朝と西インドのヴァーカータカ朝

- 希望、失意、栄光の記念碑…………… ハンス・バッカー 417  
——インドを変えた五〇年にわたるフンとの戦い(四八四―五三四年)—— (宮本亮一訳)
- 大英博物館所蔵ダネーサル・ケーラー出土仏陀像から読み解くグプタ王朝の政治構造…………… マイケル・ウイリス 455  
(福山泰子訳)
- 西マールワー地方の仏教石窟のストウーパ…………… 野々垣 篤 477  
——インド建築史における位置づけ——
- アジャンター後期壁画に見られる西方との交流…………… 福山泰子 509  
——いわゆる「胡人」表現を中心に——

## V インドの基層文化と仏教美術研究

- ヒンドゥー教の形成とヒンドゥー美術…………… 横地 優子 539

インドにおけるヤクシヤ信仰と仏教美術の形成……………永田 郁

——四天王とその眷属の鬼神を中心に——

鑿と絵筆で語られた説話……………モニカ・ジン

——仏教研究における美術史の重要性——  
(檀山智美訳)

あとがき……………

執筆者・翻訳者一覧……………